

県道飯野松山都城線 梅北工区 高樋橋 橋梁詳細設計業務

発注年度	平成24年度
発注機関	宮崎県 都城土木事務所
業務場所	宮崎県都城市梅北町

業務内容

本業務は県道飯野松山都城線（1種3級、設計速度80km/h）を跨ぐ形で架橋される、市道今松安久線（3種5級、設計速度30km/h）の高樋橋（橋長27.0m、幅員5.5m）の橋梁詳細設計である。それに付随して下部工形式比較検討、杭種杭径比較検討を実施した。比較の結果、下部工は逆T式橋台を、基礎工は支持層が深いため摩擦杭とし、φ1000×9本の場所打ち杭（オールケーシング工法）をそれぞれ採用した。地盤が液状化するため、レベル2地震時の照査を行った結果、せん断力の負担が通常よりも大きくなった。この対策として、杭径と杭本数の最適な配置案を提案した。

状況写真・概要

【施工前】



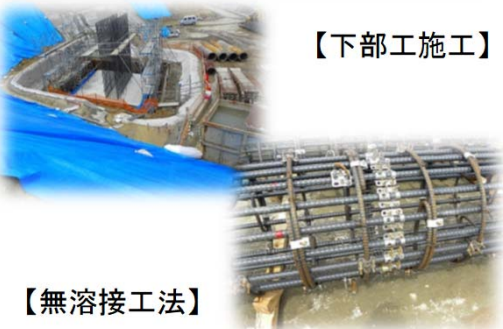
【完成】



【施工中】



【下部工施工】



【無溶接工法】

